

慈恩寺 Times

第37号

【発行】
寒河江市慈恩寺振興課
【発行日】
令和2年12月18日(金)
【問合せ・ご意見等】
寒河江市慈恩寺振興課
TEL:0237-85-1487
E-mail:jionjishinko@city.sagae.yamagata.jp

慈恩寺ガイダンス施設の愛称が「慈恩寺テラス」に決定！

8月5日から9月30日まで慈恩寺ガイダンス施設の愛称を募集したところ、北は北海道から南は鹿児島まで、全国から479件もの応募をいただきました。その中から、慈恩寺「悠久の魅力」向上基本計画推進協議会及び史跡慈恩寺旧境内整備検討委員会の各委員による投票と、醍醐地区住民による投票によって選考し、この愛称に決定しました。

慈恩寺の歴史や文化財等を伝承し、未来へ照らす(テラス)とともに、来訪される方、そして地域の方々を明るく照らす(テラス)施設になって欲しいという願いを込めています。また、施設が「史跡慈恩寺旧境内」の入口に位置し、史跡を望む広いテラスがあり、心地よく交流が生まれる場となるよう想いを込めています。さらに、子供から大人まで親しみやすく、覚えやすい響きであることから、この愛称としました。

慈恩寺の歴史文化、それを取り巻く自然などの地域資源を保全・活用するとともに、慈恩寺観光の魅力を発信し、地域の観光拠点となる施設を目指していきます。施設は来年3月末に完成し、5月にオープン予定です。



建設中の慈恩寺テラス



シアタールームのイメージ



常設展示室のイメージ

特別展「悠遠なる平安の美仏」「三重塔特別拝観」を開催



多くの人々が訪れた特別展

本山慈恩寺で、7月23日から10月25日まで特別展『悠遠なる平安の美仏』が、そして10月18日から25日まで、三重塔特別拝観が開催されました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、手指の消毒、マスクの着用、混雑時の入場制限など、対策を十分に行ったうえで開催となりました。

4月から5月はコロナ禍のため拝観者が前年比99%減と大きく落ち込んでいましたが、特別展期間中は全国から約14,000人もの人々が訪れました。慈恩寺で最も古いとされる「木造如来坐像」や、優しい表情と柔らかな造形が特徴の「菩薩坐像」、三重塔に安置される「大日如来坐像」など、訪れた人は数百年以上人々を見守ってきた美仏に見入っていました。

今後の慈恩寺関連催事の催行予定等

慈恩寺大晦日花火大会「雪月華」／中止

慈恩寺舞楽講演会／令和3年3月6日（土）



10月17日、24日、29日の3回、慈恩寺修験の修行場跡を巡る「慈恩寺修験の道ウォーキング」を、悠久の里慈恩寺運営委員会の運営によって開催しました。例年は2回の開催だったところを、今年度は平日にも1回開催し、計3回開催しましたが、それでも定員を上回る参加申込があり、人気のイベントとなっています。今年は37歳から85歳まで、幅広い年齢層の方からご参加いただきました。

参加者は、慈恩寺活性化センターを出発地点に山王台、夫婦滝を経て山業に至る約8キロの道のりを、6時間半かけて歩き、江戸時代の修行場がよく残る史跡の魅力に感じ入っています。

江戸時代の修行場跡を巡る
「慈恩寺修験の道ウォーキング開催」

た。特に29日は雲間から薄日が差し、神々しさも感じられる雰囲気。のなか、程よく色づいた紅葉も楽しむことができました。

展望休憩所設置と 第一駐車場トイレ改修

史跡慈恩寺旧境内展望休憩所の建築工事が始まりました。場所は慈恩寺テラスと慈恩寺本堂の中間地点（旧慈恩寺公民館跡地）で、見晴らしの良いところです。仁王堂坂を登った疲れを癒やすとともに、付近一帯の田園風景の眺望を楽しむことができるようになります。

また、慈恩寺第一駐車場のトイレ改修工事も始まりました。築30年を経過し老朽化が目立ってきたこと、便器が洋式ではなく和式が多かったことから、全面リニューアル工事を行っています。インバウンド需要増を見込み、絵で示す表示板等も追加します。

どちらも3月中旬に完成の予定です。トイレは、工事中は使用できませんのでご注意ください。